

令和 3 年度第 1 回高齢者保健福祉計画懇話会の意見聴取結果

1. 第 7 期高齢者保健福祉計画の進行管理について

【意見】

- 資料 1 「4 地域包括支援センターの充実・強化」について
土曜日と平日 19 時までの開庁は、本来働き方改革を実施する中で、後ろ向きとも取れる（働き世代の親の職員にとって）。大変な行動と感動しました。高齢者にとっては「ありがたい」と感じられる動きです。世論はともかく、お役所仕事と一言で言う方もいますが、時間外をいかに努力されているか、本当に頭が下がります。そんな中で特別な時間を設けて実行された事に成果はついてくると思います。いつもありがとうございます。
- 資料 1 「3 介護保険事業（1）居宅介護サービス（介護 1～5）（2）介護予防サービス（要支援 1・2）」について
実績値の合計が前年度比で増加していることから、被保険者の健康に対する意識の高さがうかがえると同時に、逗子市の事業の促進を図る取り組みが良かったのではないかと考えられます。
- 資料 1 「8 介護予防の推進」以降の事業について
新型コロナウイルス感染症の影響によるものが大きいため、早急の回復を願うばかりです。
- 資料 1 「3 介護保険事業（3）地域密着型サービス」「8 介護予防の推進」「10 認知症施策の推進」について
コロナ禍で行動が制限され、このため認知度が低下することは当然考えられる。地域密着型サービスで増加の考えられる認知対応型通所介護・認知対応型共同生活介護の実績値が計画値より達成率が低いことは意外である。しかし、介護予防では認知症予防の達成率が高く関心のあることがうかがえる。家族の認知進行が急激でとまどっている家庭も多く、認知症施策の推進での家族介護者教室の存在を広く周知させ、これに参加していただくことにより少しでも不安感を取り除けるようにしていただきたい。

- 資料1「3介護保険事業（7）市町村特別給付」について
移送サービスを利用される割合が大幅に増えた原因はコロナウイルス感染症なのか、その他の要因なのか、いずれにしても大きな成果とみえます。
- 資料1「7地域福祉の推進（見守り・支え合い）（1）ひとり暮らし高齢者実態把握調査」について
令和2年度の実績値が伸びている。コロナ禍の状況を配慮しながら強化していたことが分かります。

2. 第1回地域包括ケア会議の報告

【意見】

- 新型コロナの影響で、以前と同等の対応が出来ない中、工夫をした柔軟な発想により、現在の状況に応じた対策が出来ていることと思われる。
- 「地域包括支援センターの機能強化について」
地域共生社会の実現に向け、地域における世代や課題分野を超えた包括的支援体制の構築を目的とした、重層的支援体制整備の取り組みに期待しています。
そのためにも、その支援体制の要となる個々の地域包括支援センターの体制整備・機能強化が重要な課題と考えます。各支援センターへの包括化相談支援推進員の配置に止まらず、地域包括支援センターの基本機能の強化をめざした財政基盤の強化、とりわけ人材の確保・育成に向けた研修体制の整備補充を要望します。
また、地域包括支援センター等運営協議会での具体の協議内容について、懇話会等で情報提供いただければ、一層支援現場での課題について共有することができますので、今後検討していただくことを要望します。
- 支援継続を期待しています。
- ①アウトリーチ訪問に早期発見に努めていただける事はより安心できます。
② 時間外開庁に逗子市の新しい取り組みの光が見えてきます。
- 新型コロナで外出自粛が続く中、高齢者だけでなく、どの世代においても影響がある事な

ので、地域包括支援センターの今後の取組に期待したい。

- ①元気な高齢者を増やそうプロジェクトの実施では、新型コロナウイルス感染症の影響が
ありましたが、専門職の介入モデルの生成、電話やはがきを使用したり、パンフレットや
DVDとして配布等工夫が生かされていると思います。
- ② 地域共生社会の実現に向けて、地域包括支援センターは困りごと等に幅広く対応し、
柔軟な業務体制も行っているのです、今後の取り組みに期待したいと思います。

- 地域包括事業から更に地域共生へと幅を拡げており、地域住民にとっては喜ばしいこと
である。これを達成して行くため、更に多職種の人々が協力していく必要があり、今後に期
待したい。

- 元気な高齢者が約80%とされているが、要支援・要介護の認定を受けていなくても、フレ
イル状態の高齢者は多数存在するように思える。また、周りからとやかく言われることを
好まない高齢者も多い。その上コロナ禍で対面も難しい状況なので、どこまで踏み込んで
いくべきか悩ましい

- 地域住民が住み慣れた地域で安心して生活できるために、社会福祉課地域共生係の役割は
重要と思います。今後更なる役割発揮を期待したい。